

長島氏離党の意向

蓮舫氏が不快感

民進党の長島昭久・元防衛副大臣が共産党との共闘方針に反発し離党の意向を固めたことについて蓮舫代表は8日、「考え方が違う」と述べ、不快感を示した。蓮舫氏は「衆院選勝利に向け、野党で連携していく方針は党大会で確認されている。これから1年間の党の活動方針だ」と強調。東京都内で記者団の質問に答えた。

また、野田幹事長は奈良市内で記者団に「本人に会って聞いてみないと、考え方が分からない」と述べるにとどめた。長島氏は10日に野田氏と会い、離党の意向を正式に伝える考えだ。

一方、かつて同じグループに所属し、外交・安全保障政策でも考え方が近い前原誠司・元外相は、静岡県熱海市内で記者団に「長らく親しくやってきたので大変残念で、大事な仲間を失ったことは痛恨の極みだ」と

述べた。そのうえで、長島氏が挙げる離党理由について、「（共産党とは）基本政策も一致しておらず、執行部は共産党と政権を組むことはないと言っている。私は心配していないが、そう見られていることについて、しっかり説明していくことが必要だ」と指摘した。

自民・下村氏「歓迎」

自民党の下村博文幹事長代行は8日、民進党の長島昭久・元防衛副大臣が離党の意向を固めたことについて、「非常に優秀で考え方も我々に近い。離党するなら自民党に入ってもらいたい。ウェルカムだ」と述べた。千葉市内で記者団の質問に答えた。長島氏は衆院比例東京ブロック選出のため、国会法の規定で現在の任期中は自民党に入れない。下村氏の発言は会派入り念頭に置いたものだ。